

# Top Interview

株主の皆様には、平素よりご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスが世界に蔓延し、物流の分野にも少なからぬ影響が生じている状況ではありますが、これからもグループの総力を結集し、「One三井倉庫」としてお客様のサプライチェーンの見直しをしっかりとご支援できるよう努めてまいります。

代表取締役社長

古賀博文



/ Q /

2020年3月期の業績についてお聞かせください。

/ A /

この1年を振り返ると、昨年夏以降の大型台風等の自然災害の発生や、海外経済の不確実性の高まりにより、先行き不透明な状況が継続しておりましたが、当社の事業活動においては、期初より堅調に推移しておりました。

この第4四半期におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、国内外において一部の取扱物量が想定を下回りましたが、「中期経営計画2017」で定めた抜本的事業収益力の強化に関する各種施策の実施や、国内の物流事業における堅調な貨物取扱、不動産事業における賃料収入の増加などにより、当社グループの連結業績につきましては、1ページの「2020年3月期 フィナンシャル・レビュー」のとおり、営業収益は2,410億80百万円、営業利益は118億8百万円、経常利益は105億31百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は63億95百万円となり、厳しい外部環境のもとでもほぼ前期並みの利益を確保いたしました。

このように、2020年3月期は、三井倉庫グループの「中期経営計画2017」の“反転”の最終年度として、次のステップである持続的成長期へ繋がる礎ができたと考えております。

**Q** 2021年3月期の見通しについてお聞かせください。



**A** 2021年3月期の業績見通しにつきましては、下図の2021年3月期連結の「業績予想」のとおり、営業収益2,200億円、営業利益85億円、経常利益79億円、親会社株主に帰属する当期純利益48億円としております。

この業績見通しに関しましては、新型コロナウイルス感染症の影響による荷動きの低迷が2020年9月末までは継続し、以降収束に向かうという前提の下で作成されております。当該予想は国内外における外出自粛要請、ロックダウン等の新型コロナウイルス感染症対策の動向、同感染症の拡大あるいは収束の動向等、様々な要因により変動いたします。

これらの要因により業績予想を変更する必要がある場合は、速やかに業績予想の修正に係る開示をいたします。

業績予想 (2021年3月期連結)

営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
<b>2,200億00</b> 百万円 前期比 -210億80百万円 ▼	<b>85億00</b> 百万円 前期比 -33億08百万円 ▼	<b>79億00</b> 百万円 前期比 -26億31百万円 ▼	<b>48億00</b> 百万円 前期比 -15億95百万円 ▼

**Q** 株主配当の予定と今後の経営課題についてはどのようになりますか。

**A** 次のとおり、それぞれお答えいたします。

●株主配当について

各種施策が計画通りに進捗し、反転が完了したことから、2020年3月期の期末配当を12.5円増配し、半期配当25円を実施しました。今後も中長期的な利益水準と財務内容を勘案しながら、年間配当50円を下限とした安定的配当の継続を目標とさせていただきます。

詳細はP4の上段の図「配当の推移」をご参照ください。

## 配当の推移

※2018年10月1日付の株式会社併合(5株→1株)を反映

	実績										予定	
	2016年3月期		2017年3月期		2018年3月期		2019年3月期		2020年3月期		2021年3月期	
	中間	期末	中間	期末	中間	期末	中間	期末	中間	期末	中間	期末
1株あたり配当額(円)*	25.00	25.00	25.00	—	—	—	—	12.50	12.50	25.00	25.00	25.00

## ●今後の経営課題について

当社を取り巻く事業環境は刻一刻と変化しております。人手不足や原価の上昇は継続し、昨今の新型コロナウイルスの影響により、これまで調達や製造を特定地域に集中してきた企業群は、今後グローバルサプライチェーンの変更・見直しを迫られると考えられます。そして、サステナビリティに対する社会の意識も日々高まっております。

このような環境下において当社が持続的に成長し「真のファーストコールカンパニー」になるためには、プラスαの価値を市場にご提供していく必要があります。「中期経営計画2017」の後半2年間で、下図の通り、①圧倒的な現場力の構築、②一気通貫の統合ソリューションサービスの構築、③ESG経営の3つの施策を経営課題とし、重点的に取り組んでまいります。

## 持続的成長期”3つの施策”の概要

